第３章　構　築　工

第１．コンクリート工

１．コンクリート

「国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅱ－４－①コンクリート工」によるものとする。なお、コンクリート配合については、表１－１を標準とする。

表１－１　コンクリート構造物の分類及び標準適用配合

構造物種別	コンクリート構造物の分類	標準適用配合
無筋構造物	マッシブな無筋構造物、比較的単純な鉄筋を有する構造物、均しコンクリート等 （例）均しコンクリート、水道管保護コンクリート	B1～B6 C1、C2
鉄筋構造物	水路、水門、ポンプ場下部工、桟橋上部コンクリート、橋梁床版、壁高欄等の鉄筋量の多い構造物 （例）水道弁室、複雑な水道用保護コンクリート	A1～A6 B1～B6
小型構造物	１）コンクリート断面積が１m2以下の連続している構造物 ２）コンクリート量が１m3以下の点在する構造物 （例）側溝、照明、標識、防護柵等の基礎、集水桝、蓋板、コンクリート枠（現場打のみ）、目地コンクリート、目詰コンクリート、裏込コンクリート	C1
建設局管理の道路構造物	道路構造物（街渠、側溝、縁石、境界石等）	B7

２．その他

（１）手練りコンクリート

曲管保護工等において現場練りコンクリートを使用する場合は、次表を標準とする。

表２－１　コンクリート手練り歩掛表　　（１m3当り）

コンクリート	特殊作業員（人）	普通作業員（人）
呼び強度18N／mm2	0.95	0.25

表２－２　手練りコンクリート配合　　（１m3 当り）

呼び強度（N/mm2）	高炉セメント（ｋｇ）	細骨材（m3）	粗骨材（m3）	スランプ（ｃｍ）
18	275	0.47	0.65	8

（２）モルタル上塗歩掛

表２－３　モルタル上塗歩掛表　　（１m2当り）

種別	労力		適用範囲
	左官	普通作業員	
モルタル上塗（厚1ｃｍ）	0.15	0.05	壁面
	0.05	0.04	床面

（注）塗面積の大小作業の難易により適当な値を用いること。

第２．型　枠　工

「国土交通省土木工事標準積算基準書　Ⅱ－４－②－１型枠工」によるものとする。

第３．基礎・裏込砕石工

「国土交通省土木工事標準積算基準書　Ⅱ－２－②基礎・裏込砕石工」によるものとする。

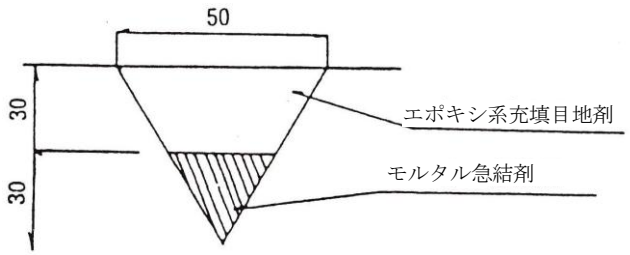
第４．Ｖカット止水工

１．積 算 基 準

（１）適 用 範 囲

本歩掛は、暗渠及び池状構造物の止水工事に適用する。

（２）防水工標準図



漏水状態

モルタル急結剤　$W1=0.03\times0.025\times\frac{1}{2}\times1.0\times2.9\times10^{3}\times1.2=1.31\mathrm{kg/m}$　（m）（m）（m）（kg/m3）

エポキシ系充填目地剤　$W2=(0.025+0.05)/2\times0.03\times1.0\times1.65\times10^{3}\times1.15$　（m）（m）（m）（kg/m3）

$=2.13\mathrm{kg/m}$

乾燥状態　エポキシ系充填目地剤　$W=0.06\times0.05\times\frac{1}{2}\times1.0\times1.65\times10^{3}\times1.15=2.85\mathrm{kg/m}$　（m）（m）（m）（kg/m3）

２．はつり、止水、充填、雑工歩掛

（１ｍ当り）

工　種	労　力	乾燥状態止水工		漏水状態止水工	
		施工性難	施工性良	施工性難	施工性良
はつり工	はつり工（人）	0.1	0.07	0.2	0.14
	普通作業員（人）	0.1	0.07	0.2	0.14
止水工	左　官（人）	－	－	0.2	0.2
	普通作業員（人）	－	－	0.2	0.2
充填工	左　官（人）	0.2	0.2	0.2	0.2
	普通作業員（人）	0.2	0.2	0.2	0.2
雑工	普通作業員（人）	0.1	0.05	0.1	0.05

（注）・諸雑費１式（端数処理）を計上する。

・はつりガラの小運搬、処分費を含む。

第５．鋼製付属設備製作工及び据付工

「国土交通省土木工事標準積算基準書　Ⅸ－14鋼製付属設備」によるものとする。